



2024年12月4日

各位

会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼CEO 竹内 在
(コード: 7318 グロース市場)
問合せ先 取締役CFO 北村 隆史
(TEL. 052-222-5306)

エクセル・グループの株式の取得(子会社化)完了に関するお知らせ

セレンディップ・ホールディングス株式会社(本社:愛知県名古屋市中区、代表取締役社長兼CEO 竹内 在 以下、当社)は、2024年10月23日付「エクセル・グループの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」で公表した通り、2024年12月4日付で、エクセル・グループ(本社:東京都中央区、代表取締役 中川 剛太 以下、エクセル)の株式を取得し連結子会社化が完了いたしましたので、お知らせいたします。

今回、商工中金キャピタル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:中西 秀一 以下、商工中金キャピタル)がファイナンシャル・スポンサーとして初めて出資参加いたしました。

記

1. 会社概要

エクセル・グループ

本社 東京都中央区京橋2丁目10番2号 め利彦ビル南館7階
グループ会社 国内5社及び海外4社の計9社(詳細は2024年10月23日付開示資料参照)
代表者 代表取締役社長 中川 剛太
事業内容 自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造
設立 1970年
URL <https://www.3d-excell.com/jp/>

商工中金キャピタル株式会社

本社 東京都中央区八重洲2丁目10番17号 商工中金本店内
代表者 代表取締役 中西 秀一
事業内容 各種投資に関する業務、その他 前号に付帯または関連する一切の事業
設立 2023年8月
資本金 1億円
URL <https://www.shochu-capital.co.jp/>

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本社 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番地11号

代表者 代表取締役社長兼CEO 竹内 在

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

設立 2006年8月

資本金 1,142,734千円

URL <https://www.serendip-c.com/>

2. エクセルホールディングス株式会社 新経営体制

代表取締役社長 中川 剛太（留任）

代表取締役副社長 高橋 直輝（三井屋工業 代表取締役社長）

取締役 竹内 在（当社 代表取締役社長兼CEO）

取締役 北村 隆史（当社 取締役CFO）

監査役 西山 一彦（当社 取締役（監査等委員））

3. 今後の見通し

本株式取得に伴い、エクセルは2024年12月31日をみなし取得日として当社の連結子会社となります。なお、本株式取得に伴う2025年3月期の通期連結業績に与える影響については、判明次第速やかに開示致します。

以 上

エクセルの子会社化について



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2024年12月4日

各種メディアに多数掲載いただきました！

- ・ エクセル子会社化について掲載いただいたメディア一覧

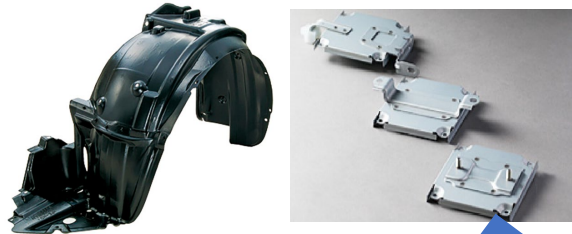
掲載日	媒体名	タイトル	リンク
2024/10/24	日刊工業新聞	セレンディップHD、エクセルHDを買収 車の内外装品強化	https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00728814?gnr_footer=0078714
2024/10/24	中部経済新聞	車用ダクト製造会社を子会社化 セレンディップHD	https://www.chukei-news.co.jp/news/2024/10/24/OK0002410240101_04/
2024/10/24	中日新聞	エクセルGを子会社化 事業承継セレンディップHD	https://biz.chunichi.co.jp/news/article/10/92614/
2024/10/24	中部読売新聞	[クルマ新世 中部編](4)後継者不足 トヨタ系でも＝中部	https://www.yomiuri.co.jp/local/chubu/feature/CO077920/20241023-OYTAT50044/
2024/10/24	金融総合専門紙「ニッキン」	セレンディップHD、商工中金子会社の出資受け製造業支援	https://www.nikkionline.com/article/224492
2024/10/24	株式新聞	セレンディップが急騰、樹脂成型品のエクセルを子会社化	https://kabushiki.jp/news/664856
2024/10/25	日刊自動車新聞	セレンディップが急騰、樹脂成型品のエクセルを子会社化	https://www.netdenjd.com/articles/-/308648

セレンディップ・チャレンジ500におけるエクセル・グループの位置づけ

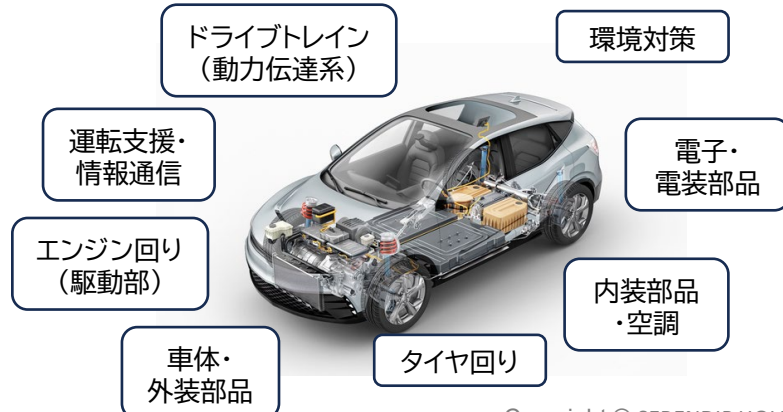
- グループ化投資は、ロールアップ型M&Aにより、単品売りから機能・技術を軸に総合提案できる体制へ移行
- 機能・技術を軸としたロールアップ型M&Aを志向し、技術力と有力な販売チャネルを有する会社を事業承継M&A

単品売りから、機能・技術を軸に
総合提案できる体制へ移行

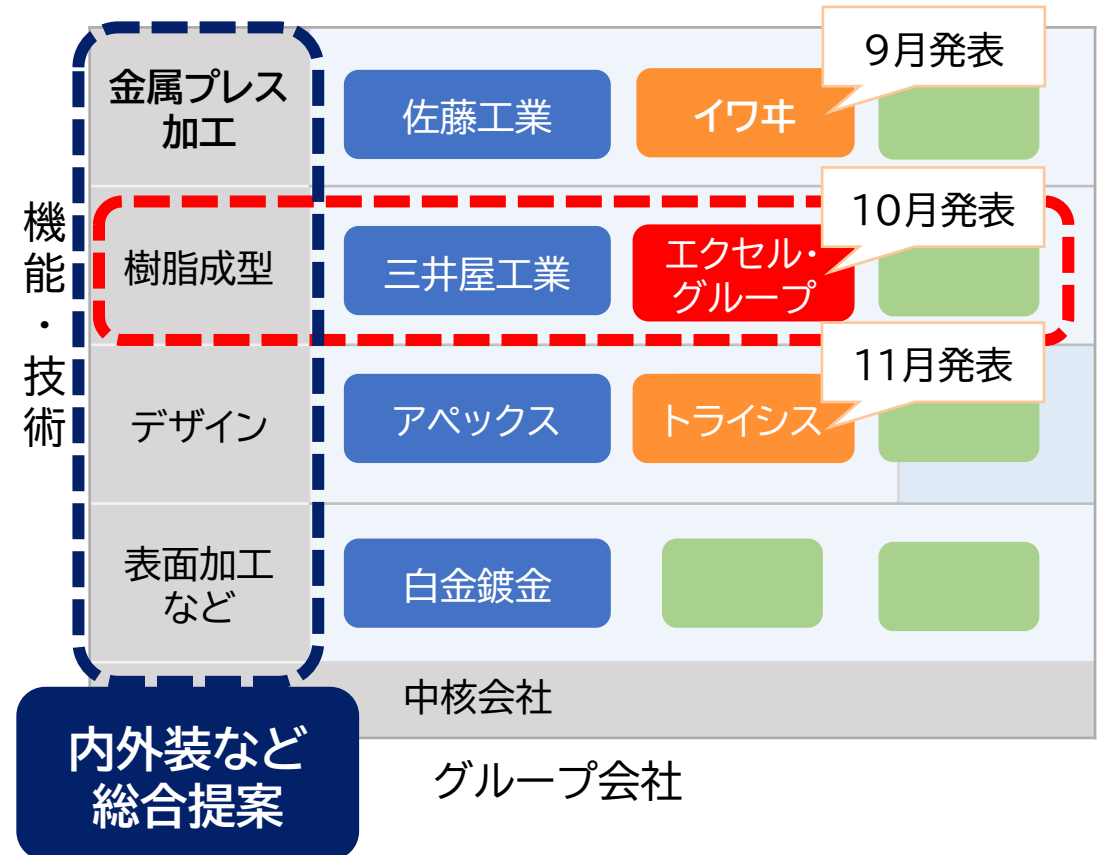
単品売り



総合提案へ移行



機能・技術を軸としたロールアップ型
の事業承継M&Aを志向



三井屋工業×エクセルで創り出す3つのシナジー効果

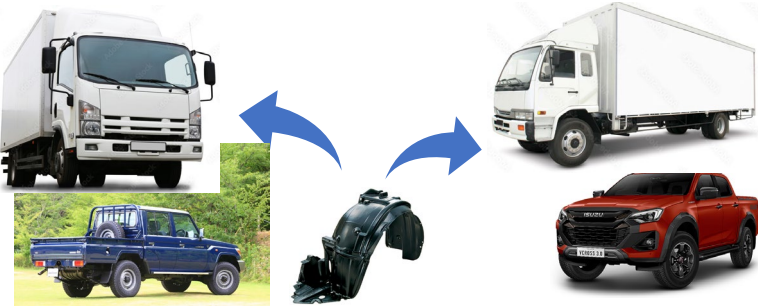
2024年10月23日掲載済

- 樹脂成型により軽量で静音性能に優れた自動車内外装品を開発製造する三井屋工業との親和性は高く、シナジー効果が期待できる

想定されるシナジー効果

1. トラックメーカー等への拡販

エクセルが得意とするトラックやピックアップトラックメーカーへ、三井屋工業の自動車内外装部品を拡販



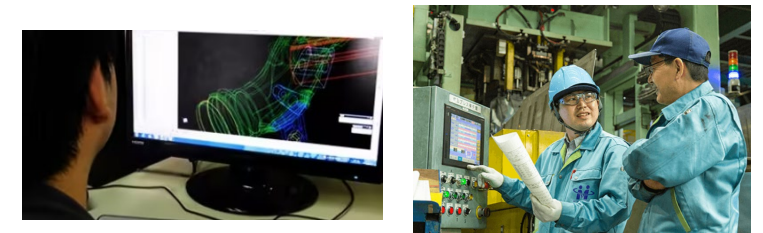
2. 樹脂材料の共同購買



原材料となる樹脂材料を共同購買することによるコスト削減

3. 新規技術・製品の共同開発

EVで期待される静音性能に優れ快適な車内空間を実現する、新たな技術・製品の共同開発



海外生産拠点を有するエクセルのグループ参加で、 当社のグローバル化は非連続的に進化

2024年10月23日掲載済

北米・タイに生産拠点

1. インド・インドネシアへの物流に適した立地
2. 豊富で優良な顧客との取引実績

エクセル・グループのグローバルな生産体制基盤
を活用した、自動車内外装品をはじめとする、セ
レンディップ・オートモーティブサプライヤーの海外
販路拡大

セレンディップ・オートモーティブサプライヤー

SATO

MITSUIYA

株式会社 イワキ

Excell

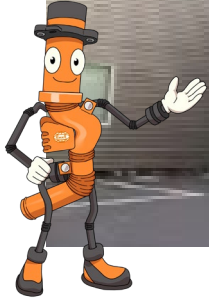
セレンディップ・チャレンジ500の成長戦略
『海外進出』を大きく推進する起点へ



アメリカ現地法人



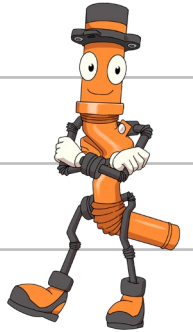
タイ現地法人



エクセル・グループは、高い設計(形状)自由度、性質の異なる樹脂材料の一体成形を特徴とする3次元ブロー成型をコア技術として、主に自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造をグローバルに行っております。その歴史は50年以上に及び、他社の追随を許さない高い技術力・開発力を有しております。

エクセル・グループの概要

代表者	代表取締役 中川 剛太
本店所在地	東京都中央区京橋2丁目10番2号 め利彦ビル南館7階
設立	1970年
従業員数	約450名 (2024年3月末)
売上高	11,184百万円 (2024年3月期)
事業内容	自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造
主要取引先	トヨタ自動車株式会社/いすゞ自動車株式会社/日野自動車株式会社/株式会社SUBARU/日産自動車株式会社 三菱自動車工業株式会社/マーレジャパン株式会社 等
グループ会社	エクセルホールディングス株式会社、エクセル株式会社、株式会社エクセル製作所、株式会社エクセルエンジニアリング、株式会社エクセル・ロジスティクス 〈海外拠点〉 EXCELL USA, INC.(北米)、 THAI EXCELL MANUFACTURING Co., Ltd(タイ) 等



Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。